

自分の生き方を考えた5日間

アンケート結果で振り返る「ワクワクWORK」

市教育委員会では、今年も9月12日から同16日までの5日間、市内全中学校の2年生911人による職場体験学習「ワクワクWORK」を実施しました。市内の全中学校で取り組んで、今年で10年目を迎えた「ワクワクWORK」。生徒や保護者、受入事業所にとつてどのような体験になったのでしょうか。アンケートの結果を振り返ります。

職業や自分の適性への動機付けと事前学習

各中学校では、1年生の時から将来の夢や生き方、身近な人の職業や興味ある職業などについて調べ学習をしたり、自分の適性について学んだりして、「ワクワクWORK」への動機付けをしてきました。

2年生になると、道徳や学活などで勤労観やあいさつなど社会性の大切さを学び、「ワクワクWORK」に向けて仕事に対する意識や社会人として基本的なマ



保育園で園児たちとふれあう生徒

今年、生徒を受け入れた事業所は245カ所

また、職場体験の直前には、事業所の人と生徒が仕事内容や服装などについて直接打ち合わせをしました。

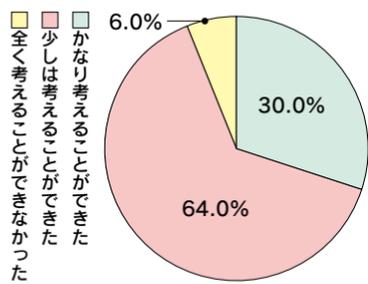
業種は、ショッピングセンターや商店、旅館、レストラン、病院、介護施設、農園、幼稚園、保育園、コミュニティ・センター、消防署などです。

職場体験後に振り返る事後学習

職場体験活動全体を通じて気づいたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりすることで、自分の生き方や将来の進路などを考えました。

生徒のアンケート結果

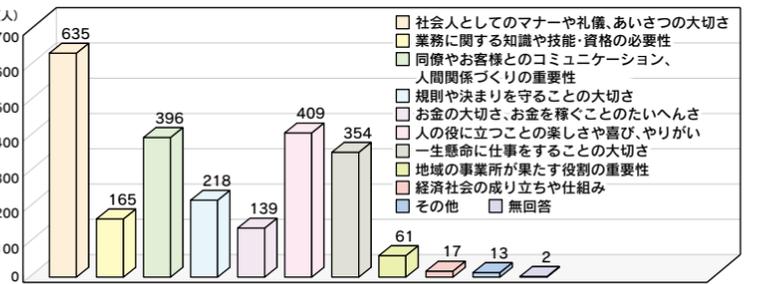
【質問1】自分の興味や適性、将来の進路や職業について考えることができたか？



【コメント】

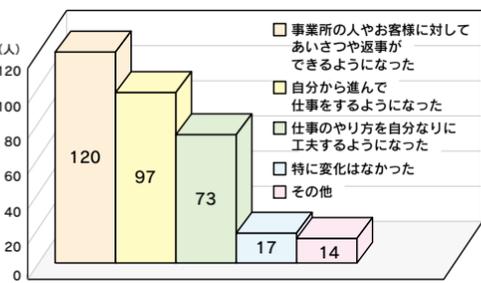
「よく話した」「少しは話した」の合計の割合は93・7パーセントで、「ワクワクWORK」での出来事が家族とのコミュニケーションのきっかけにもなっています。子どもが将来の進路を考えると、家庭の果たす役割は重要です。この事業を契機に、今後も親子で将来の夢や目標について語り合っていきたいと思います。

【質問4】事業所で教わったことで特に重要なことは何ですか？ (複数回答)



事業所のアンケート結果

【質問6】生徒にどんな変化が見られましたか？



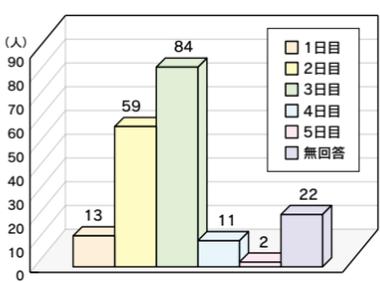
事業所の主な意見・感想

▽お金を稼ぐ大変さを学ぶことで、親の苦労や自分の適性なども考えることができたのではないのでしょうか

▽仕事の厳しさを知ることとは将来の仕事選びのためにも良いことと思うが、生徒の意欲に欠ける部分が気になった

まとめ

【質問7】生徒に変化が見られたのは何日目からですか？

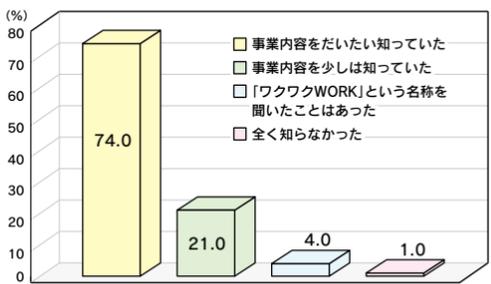


【コメント】

職場にも慣れ、自主的にあいさつや仕事をするなど、生徒たちの行動や意識に変化が見られるのは、3日ほどかかるようです。職場体験期間を5日間としている理由が、ここにあります。

保護者のアンケート結果

【質問5】ワクワクWORKを以前から知っていましたか？



【コメント】

「事業内容をだいたい知っていた」「事業内容を少しは知っていた」「ワクワクWORK」という名称を聞いたことはあった」「全く知らなかった」

保護者の主な意見・感想

▽先生や多くの事業所の協力が得られることに感謝しています

働くことや学ぶことの意義を考え、目的や進路の意識をしっかり持つて進学や就職をする若者を育てるには、学校や家庭だけでなく、地域のみならず、理解と協力が必要です。事業所のみならず、未来を担う若者を育てる活動に今後も協力をお願いします。